

2020年3月期第2四半期 決算補足説明資料

2019年11月6日
福山通運株式会社

1. 連結業績

(単位:百万円/%)

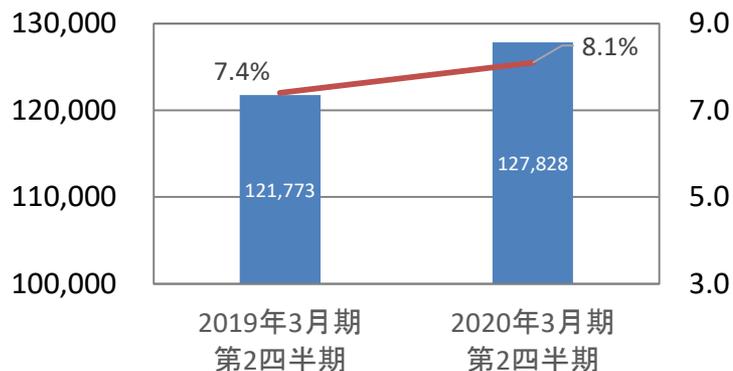
項目	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	前年同期比
売上高	144,885	138,626	104.5
営業費用	133,673	128,947	103.7
営業利益 (営業利益率)	11,211 (7.7)	9,679 (7.0)	115.8
経常利益 (経常利益率)	11,716 (8.1)	10,801 (7.8)	108.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,268	7,470	97.3

売上高は、料金改定に加え、引越便・ルート配送便・貸切便の取扱いの増加により前年同期比+4.5%となりました。
営業費用は、人件費・備車費・減価償却費の増加により前年同期比+3.7%となりました。
営業利益は、売上高の増加と輸送品質の向上等により前年同期比+15.8%となりました。

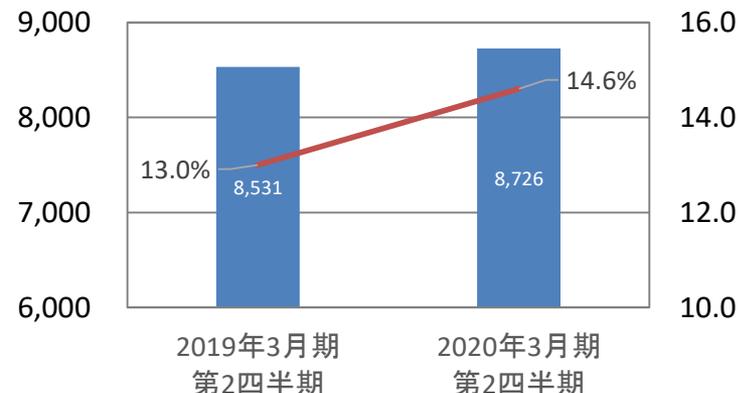
2. 事業別売上高と利益率

(単位:百万円/%)

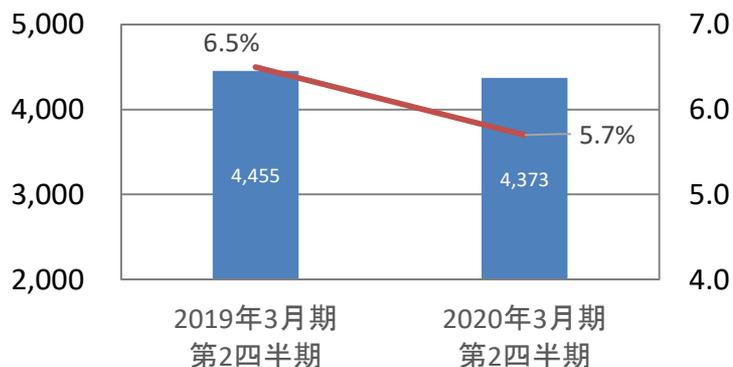
運送事業(ネットワーク・チャーター・引越など
当社グループの中核事業)



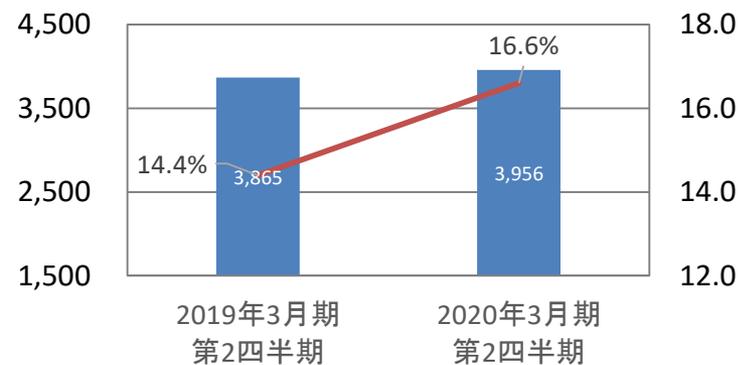
流通加工事業(貨物保管・物流加工・倉庫など)



国際事業(国際運送・国際利用運送
(フォワーディング)・通関など)



その他事業(不動産賃貸・商品販売・コンビニ・
ボウリングなど)



■ 売上高 ■ 利益率

3. 営業費用

(単位:百万円/%)

項目	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	前年同期比
人件費	61,162	58,356	104.8
物件費	49,328	48,893	100.9
諸費	15,522	15,262	101.7
減価償却費	7,660	6,434	119.1
営業費用	133,673	128,947	103.7

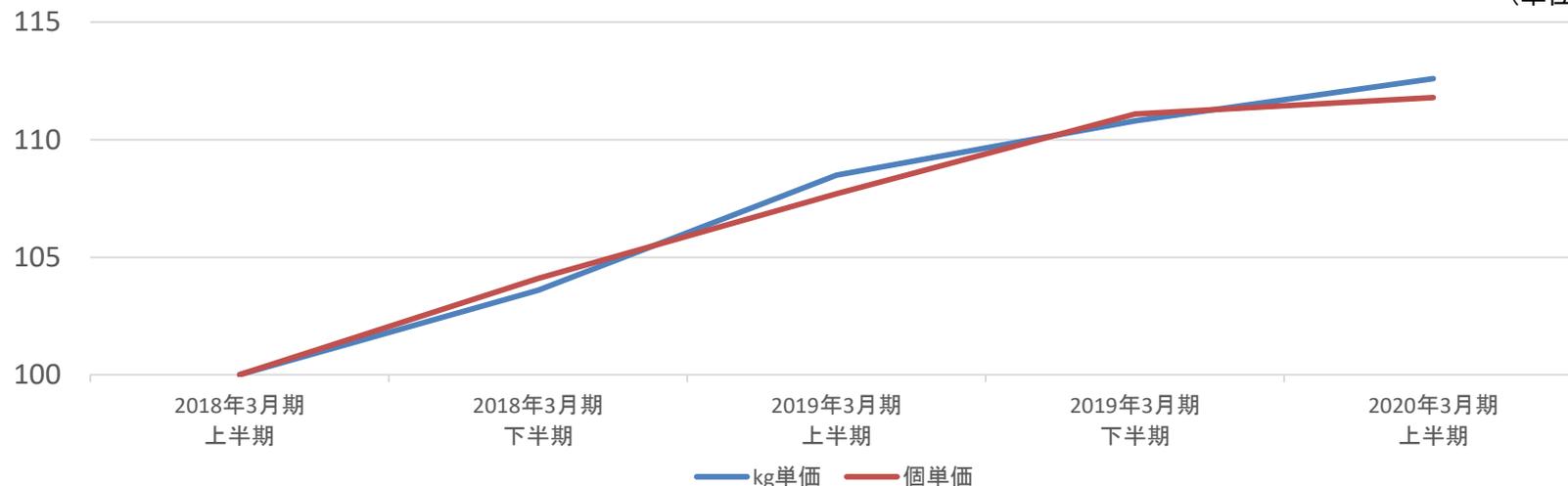
人件費 : 給与手当・賞与の引き上げによる増加
 物件費 : 備車費が増加したものの、自社化率の向上により幹線備車費は抑制
 諸費 : 業務委託費、採用に関わる費用が増加
 減価償却費 : 車両の更新及び大型車両の増車

4. 運賃是正と新得意先マスタ

運賃是正

2018年3月期上半期の平均単価(100に換算)と半期毎の平均単価との比較

(単位: %)



	2018年3月期 上半期	2018年3月期 下半期	2019年3月期 上半期	2019年3月期 下半期	2020年3月期 上半期
kg単価	100	103.1 (+3.1)	108.1 (+5.0)	110.8 (+2.7)	112.6 (+1.8)
個単価	100	103.9 (+3.9)	107.7 (+3.8)	110.9 (+3.2)	111.8 (+0.9)

()は直前の半期からの伸び

新得意先マスタ導入率

(適用比率: 金額/単位: %)

	2018年 10月	11月	12月	2019年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新得意先マスタ 導入率	75.8	78.4	80.8	83.0	84.2	86.5	88.5	88.8	90.9	91.9	92.8	93.5

< 2019年3月期 下半期 >

< 2020年3月期 上半期 >

5. 運賃是正と顧客構造改革

輸送4要素

(前年同期比/単位:%)

	トンキロ単価	個当り単価	Kg当り単価
小口貨物	102.9	102.9	103.0
商業小口	104.0	105.1	104.6
商業貨物	103.7	104.3	104.6
重厚長大	105.5	105.3	105.0
全体	103.8	104.0	104.0

運賃占有率

(単位:%)

	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	前年同期比
小口貨物	27.2	28.0	97.1
商業小口	24.4	24.1	101.2
商業貨物	22.9	22.4	102.2
重厚長大	25.5	25.5	100.0

重量占有率

(単位:%)

	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	前年同期比
小口貨物	16.9	17.2	98.3
商業小口	23.4	23.2	100.9
商業貨物	27.9	27.4	101.8
重厚長大	31.8	32.2	98.8

* 当社の荷物分類定義

小口貨物:1件1個30kg以下

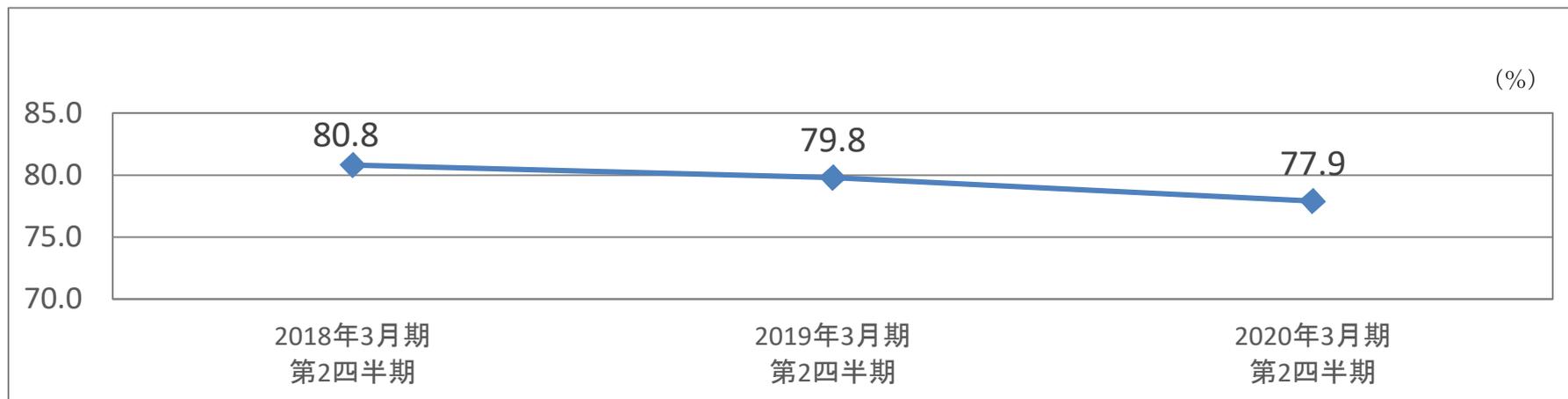
商業貨物:1件6個121kg以上

商業小口:1件5個120kg以下

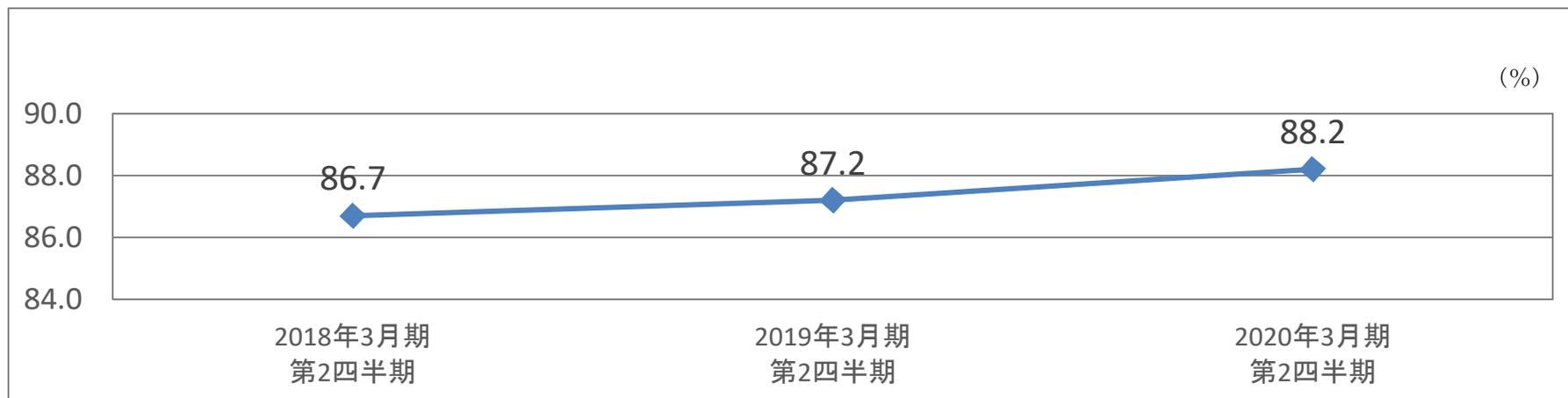
重厚長大:1個100kg以上または1件500kg以上

6. 運行便積載率と運行便自社化率の推移

■ 運行便積載率



■ 運行便自社化率



➤ モーダルシフト

□ 専用コンテナ列車「福山レールエクスプレス号」の運行

- ・2013年3月 東京－大阪間運行開始 (1日当り大型トラック92台分の輸送) ※
- ・2015年3月 東京－岡山・福山間運行開始 (1日当り大型トラック84台分の輸送) ※
- ・2017年5月 名古屋－北九州・福岡間運行開始 (1日当り大型トラック68台分の輸送) ※

※2020年3月期上半期実績



□ 25mダブル連結トラック

- ・2017年10月16日から「愛知県北名古屋市⇄静岡県裾野市」間で運行を実施
⇒ 一人のドライバーで大型トラック2台分(最大積載量)の荷物を輸送することが可能となり、労働生産性の向上、CO2排出量の削減が図れる



➤ **CNG車の導入**：37台(2020年3月期上半期実績)、累計392台(2019年9月末時点)

➤ **最新排出ガス規制適合車の導入**：1,368台(2020年3月期上半期実績)

➤ **「エコドライブ」の推進**：急発進、急加速を控えるとともにアイドリングストップを実施するなど環境に配慮した運転方法の実践

8. 社会貢献への取り組み(その1)

➤ 交通安全の取り組み

□ 交通安全教室

- ・交通安全活動に貢献し、交通事故を無くすことを目的として全国各地の小学校を中心に2013年より開催

2020年3月期上半期実績

小学校5カ所・中学校2カ所・高等学校2カ所 計9カ所(参加児童・学生数3,437名)で開催

2020年3月期下半期予定 小学校4カ所・高等学校1カ所で開催



□ 街頭活動

- ・春・秋の全国交通安全運動週間に合わせ、地域の方々と協力して交通事故防止のチラシの配布や通勤・通学者に「交通事故なし」の願いを込めて「梨」の配布(秋の全国交通安全運動週間)をするなど交通安全を呼びかける街頭活動を2013年より実施

2019年春の全国交通安全運動週間では全国27カ所(780名参加)にて実施

2019年秋の全国交通安全運動週間では全国4カ所(93名参加)にて実施



□ 書籍の寄贈

- ・各地の小学校に対し、児童の交通安全に役立ててもらうため交通安全に関する書籍を寄贈

2020年3月期上半期実績 岡山県笠岡市内の小学校へ380冊

広島県府中市内の小学校へ300冊



9. 社会貢献への取り組み(その2)

➤ 海外におけるスピーチコンテストの実施

海外で日本語を学ぶ学生に学習成果を発表する機会を提供し、日本との文化交流並びに交通安全意識の向上に寄与することを目的として2006年に中国北京で開催
(現在では4カ国6都市で開催)

2020年3月期上半期実績 5月17日 リトアニアのカウナスで開催
9月28日 中国の貴州で開催

2020年3月期下半期予定 中国(上海・北京)、ベトナム(ホーチミン)、インドネシア(ジャカルタ)



➤ NHK交響楽団コンサートの実施

子どもたちの豊かな感性を育むことを目的に2013年から福山市内の小中学生を招待し、NHK交響楽団のコンサートを開催

開催回数 7回、招待総数 小中学生8,400名



➤ 清掃活動

1990年7月20日から「アメニティクリーン作戦」と銘打ち、福山市での清掃活動を実施、以降全国各地の事業所でも地域の清掃活動を実施

(2018年度は、福山通運から全国で延べ約8,700名が参加)



➤ 不登校児童に対する支援

1996年5月に「たくましい子になろう教育塾」を開設し、いじめや不登校の問題に取り組み、児童の社会復帰への支援を実施

750名を超える児童への適応指導を行い、約8割の児童・生徒が学校への復帰や高校進学

10. 2020年3月期 連結業績予想

(単位:百万円/%)

	2020年 3月期予想	2019年 3月期実績	前期比
売上高	293,200	285,686	102.6
営業利益率 (営業利益率)	20,200 (6.9)	19,478 (6.8)	103.7
経常利益率 (経常利益率)	21,300 (7.3)	21,553 (7.5)	98.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,100	14,962	87.6